

～お子様が生後5ヶ月を迎える保護者の方へ～

BCG(結核)予防接種のお知らせ

○対象年齢：1歳のお誕生日前日まで

(※標準的には生後5～8ヶ月の接種が望ましい)

○接種回数：1回

○接種費用：全額公費負担(無料)

○接種場所：下記の市内指定医療機関、または

BCG予防接種を行っている本島内の医師会会員医療機関

(※接種前に予約を行い、必ず親子(母子)健康手帳を持参して下さい。)



■BCG(結核)予防接種 接種スケジュール

【標準:生後5か月以上8か月未満】

1回



生後5か月

1歳

未満

上腕外側のほぼ中央部に管針により
2か所に圧刺(経皮接種)

接種できる期間が短いため、
早めの接種をお勧めします!



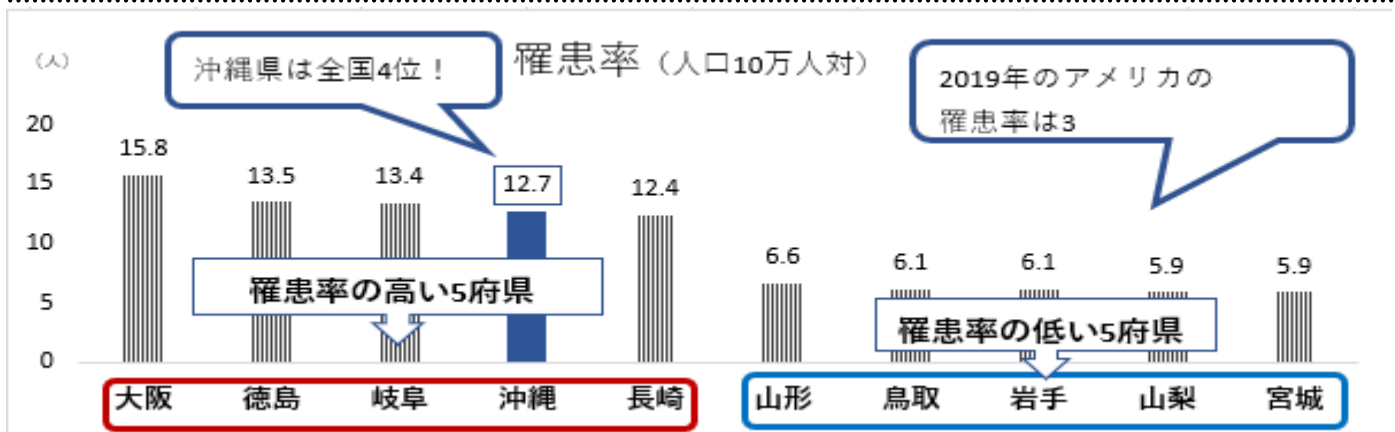
浦添市内BCG予防接種指定医療機関(令和5年3月現在)

	医療機関名	所在地	施設長名	電話番号
1	あかみねクリニック	沢岬2-1-1	赤嶺 弘	873-0071
2	ありんクリニック小児科	伊祖2-1-3(4階)	松田 竹広	874-2020
3	ぐるんぱ小児科	当山2-2-11(4階)	男澤 拓	871-1737
4	ティータこどもクリニック	城間4-3-10-1	健山 幸子	873-2020
5	同仁病院	城間1-37-12	山内 裕樹	876-2212
6	なかむら小児クリニック	宮城4-15-8	中村 豊一	873-3900
7	まちなと小児クリニック	牧港2-46-12(4階)	新垣 義清	942-1110
8	みゆき小児科	前田3-3-8	山川 美由紀	878-5828
9	向井わらびクリニック	字経塚633(4階)	向井 修一	894-3646

結核ってどんな病気？

結核は、結核にかかった人のせきやくしゃみに含まれる結核菌を吸い込むことで感染（空気感染）しますが、全ての人が発病するわけではありません。**体の免疫力が低下すると体内の結核菌の活動が活発となり、発病します。**発病すると体内の様々なところで炎症を起こしますが、中でも肺結核が最も多く、結核患者全体の約80%を占めています。

特に免疫力が未熟な**1歳未満の乳幼児が発病した場合は、粟粒結核や結核性髄膜炎等、重症化しやすい病気**です。かつては日本人の死因第1位だった結核ですが、現在は化学療法によりほとんどの結核は治療可能となりました。しかし、それでも6ヶ月以上の長期治療が必要となります。また、患者数も昔に比べると減少していますが、**2020年の新規患者数12,739人、死亡者数1,909人の重大な感染症**です。そのため「結核は過去の病気」と考えず、しっかり予防する必要があります。**<2020年中の沖縄県における新規患者数186人>**



厚生労働省「2020年 結核登録者情報調査年報集計結果について」より作成

BCG ワクチンについて

BCG ワクチンは、適切に接種することで結核の発病を大きく抑えます。粟粒結核や結核性髄膜炎等の重症になりやすい乳幼児期の結核の予防には特に有効といわれています。また、その予防効果は接種後10～15年程度持続するといわれています。そのため、**生後1歳までに接種することが勧められています。**

接種後の注意・副反応

主な副反応として、**接種後10日～4週以内に接種部位が赤くなり(発赤)、その後は硬結(硬くなる)→腫脹(はれ)→痂皮(かさぶた)ができます。**接種後に見られる正常な副反応ですので、接種後1～3ヶ月程度で自然と治ります。接種部位を清潔に保つことを心がけましょう。

まれに接種部位が化膿して自然に破れて膿が出るがありますが、こちらも通常は放置して様子を見てかまいません。3ヶ月以上経過しても治らない場合は、早めに医師の診療を受けましょう。

また、まれに接種した腕の腋下のリンパ節が腫れることがあります。(発生頻度0.7%程度)

コッホ現象について

結核に感染している疑いのある人がBCG接種をした場合、**通常より早い時期(接種後1～10日以内)に接種部位の発赤・腫脹及び化膿等の副反応が強く現れます。**これを「コッホ現象」といいます。

コッホ現象と思われる反応が起こった場合は、早めに接種した医療機関 又は 浦添市健康づくり課 予防係までご相談ください。

お問い合わせ先

浦添市保健相談センター(健康づくり課 予防係) ☎098-875-2100